

キュレーター 三木あき子さん「村上隆の五百羅漢図展」

《五百羅漢図》は、世界の絵画史の中でも最大級のものとなる全長100mの絵画作品です。

作品の完成を待たずして海外に送られたもので、今回が日本における初公開になります。

この作品が出来たきっかけは、江戸時代の狩野一信や長沢芦雪らの五百羅漢図に触発されたことありますが、より重要なのは東日本大震災に遭遇したことでした。



《五百羅漢図》右「青竜」、左「白虎」（撮影：高山幸三）

生と死が隣り合わせの状況において芸術家に何ができるのか？という、大いなる問いの答えとして、この作品が生まれたといえるでしょう。

「村上隆の五百羅漢図展」は、六本木ヒルズ森タワー53階の「森美術館」にて開催中です。

(2016.03.02)

注目の展覧会、いよいよ3月6日（日）まで

森美術館の南條史生館長が「将来、ピカソの《ゲルニカ》に匹敵する作品になるのでは」とコメントするほど、圧倒的な注目を集める《五百羅漢図》。その制作手法も話題で、全国的美大生から参加者を募り、約200人が24時間体制で制作に取り組み、1年足らずで完成させました。

さらに、この展覧会は《五百羅漢図》以外にも見どころが満載。村上隆氏がすでに10年近い歳月をかけ、今なお制作に取り組んでいる《宇宙の産声》（2005年～）は高さ4mを超える彫刻作品。また、過去の代表作《727》や《たんたん坊》の最新版も展示されています。

村上氏の“今”が見られる展覧会。開催は3月6日（日）までなので、絶対にお見逃しなく。

開催概要

- 期間：2015年10月31日（土）～2016年3月6日（日）
- 時間：10:00～22:00（火曜 17:00まで）※入館は閉館30分前まで
- 場所：森美術館（六本木ヒルズ森タワー53階）
- 入場料：一般 ¥1,600、高校・大学生 ¥1,100、4歳～中学生 ¥600
- 主催：森美術館、朝日新聞社、NHKプロモーション
- ▶ 森美術館

村上隆：日本が生んだ世界的アーティスト

1962年、東京生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。日本画において初の博士号を取得。制作工房、ギャラリー等を含めたアートの総合会社である有限会社カイカイキキ代表。2008年に

は『タイム』誌が選ぶ「世界で最も影響力のある100人」に選出される。ルイ・ヴィトン、VANS、シュウウエムラ、六本木ヒルズ等の企業ブランディングのプロジェクトや、カニエ・ウェスト、ファレル・ウィリアムス、ゆず等、ミュージシャンとのコラボレーションでも知られる。近年は映画、映像制作も手掛け、2013年には初の実写映画監督作品「めめめのくらげ」を公開。TVアニメシリーズ『6HP』（Six Hearts Princess）の放映も控えている。

プロフィール



写真：笠木靖之

2000年から2014年までパレ・ド・トーキョー（パリ）チーフ/シニア・キュレーター。2011年ヨコハマトリエンナーレ アーティスティック・ディレクター。

アジア、欧州にて数多くの展覧会を手掛ける。主な企画・共同企画展に、「第46回ヴェネツィア・ビエンナーレ、トランスカルチャー」（1995年）、「台北ビエンナーレ：欲望場域」（1998年）、「荒木経惟」（2005年、バービカンアートギャラリー、ロンドン）、「チャロー！インドア」（2008年、森美術館その他国際巡回）等。2011年DAM建築本賞を受賞した『Insular Insight』等、共著・共編も多い。ベネッセアートサイト直島国際芸術顧問。